

利根沼田地域感染症発生動向調査情報（週報）

2025年第26週（2025年6月23日～2025年6月29日）

◆利根沼田地域で百日咳の報告が10件ありました。

現在、全国的に百日咳が流行しており、利根沼田地域でも多くの患者が報告されています。百日咳は百日咳菌による感染症で、患者の咳やくしゃみなどのしぶきによって感染します。感染すると風邪症状が見られ、徐々に咳が強くなっていきます。成人では、比較的軽い症状で経過することが多いですが、乳児が感染すると重症化し死に至ることがあります。予防方法として、予防接種やマスクの着用、こまめな手洗い・手指消毒などが有効です。また、流行時に予防接種が完了していない乳幼児を連れて外出する際には人混みを避けるように注意しましょう。

◆県内で咽頭結膜熱の報告が増加しています。

咽頭結膜熱はアデノウイルスを原因とする、発熱・咽頭痛及び結膜炎が主症状の感染症です。症状がある場合は早めに医療機関を受診してください。原因ウイルスはアルコールが効きにくいため、感染対策として石けんと流水による手洗いをしましょう。

◆群馬県で伝染性紅斑の警報が発令されています。

伝染性紅斑とは両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれるヒトパルボウイルスB19による感染症です。妊娠中に感染した場合、まれに胎児の異常や流産が生じることがあります。妊娠中あるいは妊娠の可能性がある女性は、できるだけ患者との接触を避けるよう注意が必要です。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいため、石けんと流水で手を洗い、咳エチケットを心がけましょう。

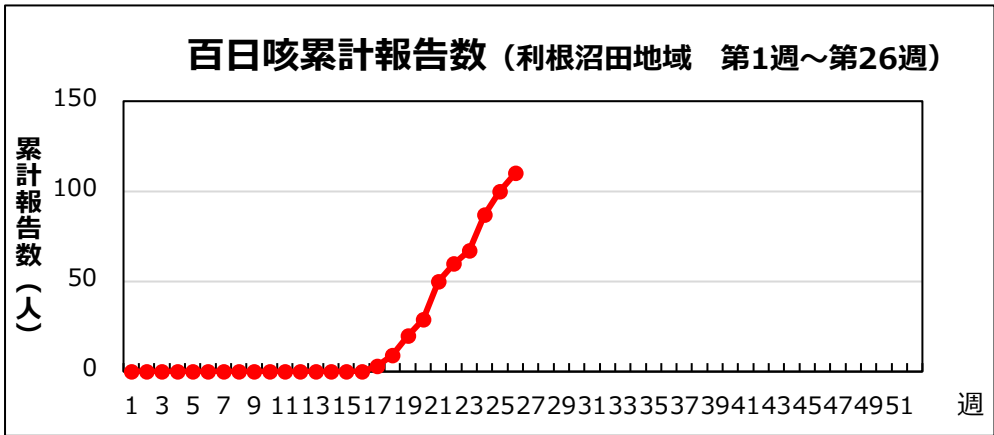
◆利根沼田地域でレジオネラ症の報告がありました。

レジオネラ症は水中や土壌などの環境に生息するレジオネラ属菌が原因で起こる感染症で、レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（細かい霧やしぶき）やほこり・ちりを吸入することによって感染します。高齢者、糖尿病・肺疾患など基礎疾患のある人、抵抗力が弱い人は重症化しやすく、急激に悪化して命にかかわることがありますので、発熱や呼吸器症状が現れたら早めに医療機関を受診しましょう。また、感染を防ぐため、浴槽や浴室は毎日洗浄し、清潔に保ちましょう。

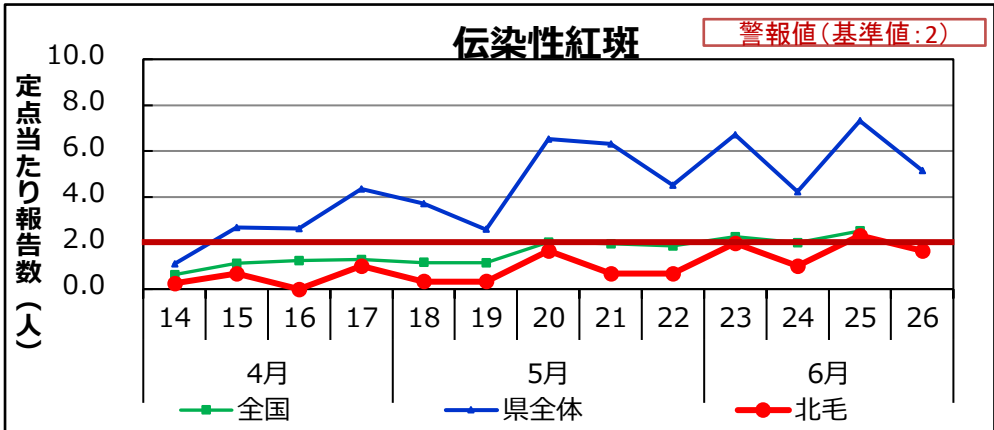
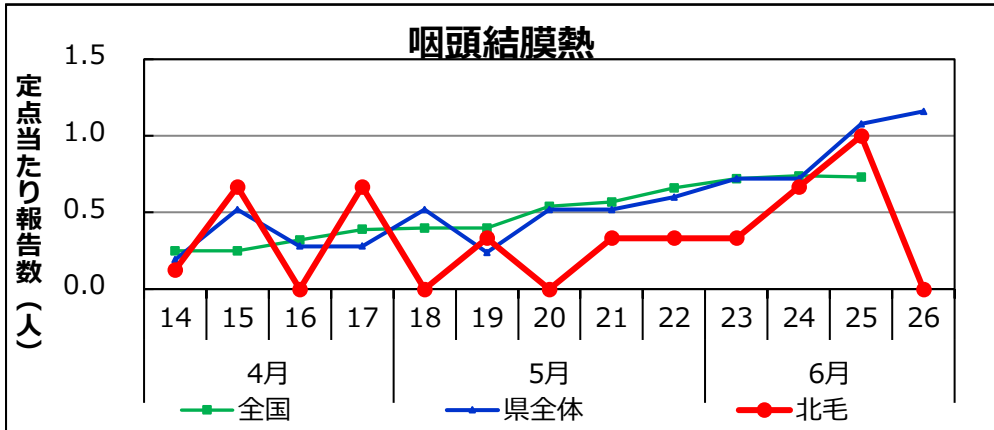
★医療機関や施設等で感染症の集団発生や食中毒を疑う事例があった場合には保健所にご連絡ください。

【全数把握対象疾患】

類型	疾患名	年齢群	性別
四類	レジオネラ症	60歳代	男
五類	百日咳	50歳代	男
五類	百日咳	40歳代	女
五類	百日咳	10歳代	男
五類	百日咳	30歳代	女
五類	百日咳	10歳代	男
五類	百日咳	70歳以上	男
五類	百日咳	10歳未満	男
五類	百日咳	20歳代	女
五類	百日咳	10歳代	女
五類	百日咳	70歳以上	女



【定点把握対象疾患】



【急性呼吸器感染症（ARI）定点把握疾患及び小児科定点把握疾患】

疾患名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		R S ウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎	
	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当
県全体	4	0.09	29	0.64	1	0.04	29	1.16	49	1.96	198	7.92
北毛	-	-	3	0.50	-	-	-	-	1	0.33	2	0.67

疾患名	水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当	報告数	定当
県全体	16	0.64	11	0.44	129	5.16	15	0.60	8	0.32	1	0.04
北毛	1	0.33	-	-	5	1.67	4	1.33	-	-	-	-

【眼科定点把握疾患】

疾患名	急性呼吸器感染症	
	報告数	定当
県全体	3,261	72.47
北毛	167	27.83

疾患名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎	
	報告数	定当	報告数	定当
県全体	-	-	27	1.93
北毛	-	-	6	3.00

◆凡例	定当	： 定点あたり報告数（人）		： 警報レベル
	-	： 報告なし		： 注意報レベル

発行：利根沼田保健福祉事務所 保健課保健係
TEL：0278-23-2185